

科目名	自己発見とキャリアデザイン		
英語科目	ナンバリング	GCcad201	
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目
教員名	小山 治, 中澤 正江, 松尾 智晶, 吉中 三智子	配当年次	2年次
		単位数	2単位

授業概要／Course outline

・京都産業大学では、「むすんで、うみだす」をスローガンに「むすぶ人」の育成を目指しています。この科目では、「むすぶ人」になるための基盤づくりとして「社会の一員として活動する際の、自分自身の個性の活かし方」「社会課題に関心を寄せることと大学での学びのかかわり」「産業界と自分達が学ぶ専門科目とのつながり」を理解します。そして、それらを主体的な大学生活の推進と卒業後のキャリア・プランの明確化、自己の価値観に基づいて生涯にわたるキャリアを形成する力の習得につなげます。

具体的には、「進路選択に活用できるキャリア理論を理解して自らの課題を発見し、キャリア形成力を高めることができる」「実社会や実問題に関心を寄せた上で、自分が社会で果たすべき役割について抱負を持ち、自身が所属する専門領域外の他者に対し、専門の学びや自らが社会で果たしたい役割について説明することができる」「自分を取り巻く環境と自己を理解した上で自分の方針を決定し、キャリア・プランニングを実践できる」という内容です。

※この授業は、2、3、4年次生を対象に、1クラス最大150名で開講します。

※キャリアデザインに関する1つのテーマを、2回ないしは複数回に分けて取り上げ、理解を深めます。

※京都府ジョブパーク様と協働し、授業時間内に、企業の方とのフラットな場で率直に社会人生活・大学生活について対話する回を複数回設けています。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション／企業人との対話）

キャリアデザインに関する理論や情報を活用して授業テーマに関する理解を深め、受講生自身のキャリアデザインに関する知見を増やします。

さらにその知見を活かして自らのキャリアデザインに関する考えを表現しあい、思考の幅を広げて将来のキャリア形成や進路選択に役立てます。

毎回の課題提出が必要です。

・実務経験のある教員による授業

企業・団体で活躍する学外有識者、幅広い分野の実務家等の社会人が、現代社会の課題やキャリアについて対談型の講義をします。

授業内容・授業計画／Course description・plan

●各テーマを、2回のセッション（以下Session）で取扱います。

※学年暦と外部講師等の日程調整のため、各回の実施計画は微調整されます。詳細は、第一回授業のオリエンテーションにて確認してください。

第1回 オリエンテーション

第2回 キャリアの意味と欲求・動機づけ・進路選択 ―学びの概要説明― 【Session 1】

第3回 同上 【Session 2】

第4回 生涯つづくワーク&ライフキャリアとライフラインチャート 【Session 1】

第5回 同上 【Session 2】

第6回 労働法と正規・非正規雇用のキャリア形成 ―安心安全な働き続け方― 【Session 1】

第7回 同上 【Session 2】

第8回 計画された偶然性・転機を活かす ―環境変化に主体的に対応し楽しむために― 【Session 1】

第9回 同上 【Session 2】

第10回 中間レポート

第11回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―①

第12回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―②
企業人との懇談会に参加する

第13回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―③
「人生すごろく金の糸」とキャリアカウンセリングを活用して

第14回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―④
企業人との懇談会に参加する

第15回 まとめと最終レポートテスト

※Session 1は、テーマの基礎的な理解を促す回です。Session 2は、Session 1で理解した内容を実践に活用するための考察を深める回です。

※「人生すごろく金の糸」：2012年度0/OCF-PBL2の課題提供団体である特定非営利活動法人日本キャリア開発協会（JCDA）が、本学学生の原案に基づき開発されたキャリアカウンセリング体験ツールです。

準備学習等（事前・事後学習）／Preparation and assignments

事前学習：事前学習の内容は事後課題の提出に含まれます。手元のノートなどに内容を整理して授業に臨んでください。

事後学習：事後課題提出（14回：うち1回は中間レポートで代替）

授業内容に関する問いの回答を考察し、小レポート形式で【各クラス担当教員が定める期限まで】にMoodleにより提出。

事後学習は、授業で得た知見に対して自身の考えを、根拠に基づいてまとめるものです。知識を定着させ、実践に活用できるよう、自分の中で省察しておきましょう。

※事後課題は、成績の対象となります。

※期限を過ぎてからの提出は原則として認めません。注意してください。

※事前学習、事後学習とも各回あたり2時間必要です。

第1回 オリエンテーション

【事前学習】「大学生活と将来のキャリアとの関係」「卒業後の進路選択」について自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「大学生活と将来のキャリアとの関係」「卒業後の進路選択」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを深化させる

第2回 キャリアの意味と欲求・動機づけ・進路選択 —オリエンテーションと学びの概要説明—【Session 1】

【事前学習】「キャリア」「欲求段階と外発的・内発的動機付け」「自分の進路選択」に関するMoodle上の問いを、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解するとともに自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「キャリア」「欲求段階と外発的・内発的動機付け」「自分の進路選択」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを深化させる

第3回 キャリアの意味と欲求・動機づけ・進路選択 —オリエンテーションと学びの概要説明—【Session 2】

【事前学習】「キャリア」「欲求段階と外発的・内発的動機付け」「自分の進路選択」に関するMoodle上の問いを、前回の講義で得た知見を活用し、自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「キャリア」「欲求段階と外発的・内発的動機付け」「自分の進路選択」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを定着させる

第4回 生涯つづくワーク&ライフキャリアとライフラインチャート【Session 1】

【事前学習】「人の生涯つづくワークキャリア」「自分のこれまでのキャリア」に関するMoodle上の問いを、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解しておく

【事後学習】「人の生涯つづくワークキャリア」「自分のこれまでのキャリア」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを深化させる

第5回 生涯つづくワーク&ライフキャリアとライフラインチャート【Session 2】

【事前学習】「人の生涯つづくワークキャリア」「自分のこれまでのキャリア」に関するMoodle上の問いを、前回の講義で得た知見を活用し、自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「人の生涯つづくワークキャリア」「自分のこれまでのキャリア」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを定着させる

第6回 労働法と正規・非正規雇用のキャリア形成 —安心安全な働き続け方—【Session 1】

【事前学習】「労働法と労働行政」「正規・非正規雇用」に関するMoodle上の問いを、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解しておく

【事後学習】「労働法と労働行政」「正規・非正規雇用」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを深化させる

第7回 労働法と正規・非正規雇用のキャリア形成 —安心安全な働き続け方—【Session 2】

【事前学習】「労働法と労働行政」「正規・非正規雇用」に関するMoodle上の問いを、前回の講義で得た知見を活用し、自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「労働法と労働行政」「正規・非正規雇用」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを定着させる

第8回 計画された偶然性・転機を活かす ―環境変化に主体的に対応し楽しむために― 【Session 1】

【事前学習】「転機と4S理論」「計画された偶発性理論」に関するMoodle上の問いを、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解しておく

【事後学習】「転機と4S理論」「計画された偶発性理論」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを深化させる

第9回 計画された偶然性・転機を活かす ―環境変化に主体的に対応し楽しむために― 【Session 2】

【事前学習】「転機と4S理論」「計画された偶発性理論」に関するMoodle上の問いを、前回の講義で得た知見を活用し、自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「転機と4S理論」「計画された偶発性理論」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを定着させる

第10回 中間レポート 欲求と動機づけの実践活用

【事前学習】Moodle上の問いを、第3回、第4回の講義で得た知見を活用し、自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「キャリア」「欲求段階と外発的・内発的動機付け」「自分の進路選択」に関して中間レポートの回答を基に自らの学びを実践活用できるレベルに向上する

第11回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―①

【事前学習】キャリアデザインに関わる京都市内の企業情報を、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解するとともに卒業後の進路選択及び企業に対する自己の関心事をまとめておく

【事後学習】「進路選択のビジョンと自らの価値観、行動」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを定着させる

第12回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―②企業人との懇談会に参加する

【事前学習】キャリアデザインに関する情報を、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解するとともに企業に対する質問事項をまとめておく

【事後学習】「進路選択のビジョンと自らの価値観、行動」に関して授業内で学んだ内容を活用して、Moodle上の問いに回答し、それを基に自らの学びを実践活用できるレベルに向上する

第13回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―③「人生すぐろく金の糸」とキャリアカウンセリングを活用して

【事前学習】キャリアデザインに関わる自己理解に資する情報を、書籍やインターネット等で調査し、進路選択及び自己のキャリアに関する関心事をまとめておく

【事後学習】「進路選択のビジョンと自らの価値観、行動」に関して授業内で学んだ内容がMoodle上の問いにまとめられており、それに回答することで自らの学びを定着させる

第14回 京都産業大学生のキャリアデザイン ―大学での経験を自己のキャリア形成へつなぐ―④企業人との懇談会に参加する

【事前学習】キャリアデザインに関する情報を、書籍やインターネット等で調査し、内容を理解するとともに企業に対する質問事項をまとめておく

【事後学習】「進路選択のビジョンと自らの価値観、行動」に関して授業内で学んだ内容を活用して、Moodle上の問いに回答し、それを基に自らの学びを実践活用できるレベルに向上する

第15回 まとめと最終レポートテスト

【事前学習】「自らの大学生活と卒業後のキャリア形成」に関するMoodle上の問いに関して、自分の考えを根拠に基づいてまとめておく

【事後学習】「自らの大学生活と卒業後のキャリア形成」に関するMoodle上の問いに回答するとともに、授業全体のまとめの振り返りをおこなう

授業の到達目標/Expected outcome

- グループワーク（受講生とのディスカッション）を通じ、自らのキャリア形成上の課題を内省・発見することができる。
- 進路選択に活用できるキャリア理論を理解し、自らのキャリア形成力を高めることができる。
- 大学での学びと卒業後のキャリアのつながりを理解して自分が社会で果たすべき役割について抱負を持ち、自身が所属する専門領域外の他者に対し専門の学びや自らが社会で果たしたい役割について説明することができる。
- 実社会や実問題に関心を寄せて自分を取り巻く環境と自己に対する理解を深めて職業観を形成し、自身が所属する学部の専門領域を活かした自己のキャリア・プランニングを実践できる。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・主体性

履修上の注意／Special notes, cautions

- ・毎回の事後課題は評価の対象であり、提出は必須です。提出期限を過ぎてからの提出は原則として認めません。
- ・本科目で使用する全てのファイルのダウンロードに際し、著作権や各種法令を遵守することに同意する場合のみ、これらのファイルをダウンロードすることができます。
- ・アクティブ・ラーニング型授業であることから、受講生には主体的な参画、自発的な調査や、質問する姿勢を求めます。
- ・真摯に自らのキャリア形成と社会課題を考え、問題意識を明確化することや、自分の考えをわかりやすく文章で言語化し、相互理解を促進するコミュニケーション力を高めることに意欲的な方の受講を求めます。
- ・各課題及びレポートについては、匿名化して授業で紹介することがあります。
- ・グループワークや企業人との対話に基づく内省を学習コンテンツとするため、原則としてグループワークに参加することが困難である場合、受講することができません。

評価方法／Evaluation

以下、3点の合計で100%とする。

1. 「事後課題」13回 (65%)
2. 「中間レポート」1回 (10%)
3. 「最終レポートテスト」1回 (25%)

※事後課題レポートに、事前課題の内容を含む形式です。

※本科目は上記の通り期限内の課題の提出を基本とし、授業への参加（出席）は事後課題への回答を持って完了とします。全13回の上記事後課題及びレポートのうち、3分の2以上の提出が無い場合は「/（出席日数不足）」となります。

※「最終レポートテスト」は授業内容の総括的内容であるため、未提出は「K（棄権）」となります。

教材／Text and materials

毎週授業資料を授業内で掲示します。

質問や相談の方法／Instructor contact

質問や相談は、各担当教員までメールしてください。

その他／Others

授業の初回に、授業の進め方および各クラス担当教員ごとに質問等問い合わせ先のメールアドレスをお知らせします。